

平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

### ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 友達への思いやり	3 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)
【学校から】①昨年度比で、「4」の割合が保護者で7%、児童で14%高くなっている。児童のよさを十分に認めることを全職員で共通理解すると共に、児童の頑張りやよさを紹介するためのカードに全校で取り組む等、児童同士が互いを認め合う場も大切にしていることと表れであると考えている。②日常生活での観察、毎月のなかよしアンケート等、児童の実態把握に努め、児童が友達となかよく関わられるよう配慮している。児童の中に僅かだが、「1」「無回答」がみられる。なかよくできていない原因はどんなところにあるのか、無回答に込められている思いは何か児童の心に丁寧に寄り添ってきたい。③人権教育の推進と道徳教育の充実を重点項目にあげ、主体的・対話的で深い学びのある道徳の授業改善に校内研修で取り組むと共に、保護者へは、学校だより・学年・学級通信・道徳通信等で取り組みや授業の様子を伝えてきた。保護者・教職員の「4」の割合が増えており、特に保護者は10%増えているのはその成果であろう。児童は、挨拶運動や落ち葉拾いボランティア等、緑化活動に楽しんで取り組み、着実に意欲が高まりつつあるところである。		

### ②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度	5 授業力向上	6 ICT活用
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。
【学校から】④昨年度比で、保護者の「4」の割合が8%増えており、授業参観や学年通信・学級通信、学校便り等を通して授業の様子を発信していることも理解に繋がっていると考えている。⑤児童・保護者の「3」「4」の割合が90%を越えており、保護者では昨年度比で、6%増えている。本年度より、校内研修で「主体的・対話的で深い学びのある道徳・外国語活動を目指して」のテーマの下、更なる授業改善に取り組んでいることと表れであると考えている。⑥今年度は電子黒板等が導入されたこともあり、保護者・児童・教職員全てにおいて数値の上昇が見られ、特に教職員の活用意識がプラス14%と大きく向上している。ただ保護者の評価は、児童・教師より低くなっており、今後、新年度からのタブレット導入も契機に、授業参観や学年通信・学級通信、学校だより等での更なるICT活用の様子発信していく必要がある。		

### ③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり
子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。
【学校から】教職員において、「4」の評価が昨年度0%から13%と増えており、学校保健委員会で「生活リズム、運動習慣」に加え、「食習慣」についても取り組んだ手応えであると考えている。しかし、「1」「2」の割合が他より多い項目であるので、取り組みを継続するとともに、更に積極的に発信していく。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実	②特別支援教育の推進	
8 児童生徒理解	9 いじめや問題への対応	10 学校の支援体制
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
【学校から】⑧昨年度比で、児童は「4」の割合が16%増えており、よさを認められていると実感できている児童が確実に増加している表れであると考えている。しかし、5%の児童は「1」「2」と回答している。子どもが活躍する機会をつくり、子どもの頑張りを見逃さないようにして、教師と子どもの信頼関係を更に深めていきたい。⑨昨年度比で、「4」の割合が児童で9%増えている。教職員の「4」の割合も22%増加している。いじめや問題行動に対して、「迅速に」「適切に」「組織で」対応してきたと職員が自負している表れであるが、しかし、「1」「2」と不十分と感じている保護者もまだ10%いるので、保護者や子どもの思いを傾聴しながら更に丁寧に対応していきたい。⑩「4」の割合が、職員で16%、保護者で6%増えている。「1」「2」の割合は、保護者で3%にとどまり、保護者のニーズに応えた学校での支援体制について、概ね理解を得ている表れであると考えている。今後も引き続き、丁寧に取り組みと啓発を図ってきたい。		

①子どもたちの身近な安全対策の充実	②最適な学習環境の整備	
11 安全と事故防止	12 施設・設備の安全管理	13 安全と事故防止
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。
【学校から】⑪昨年度比で、「4」の割合が保護者で8%、教職員で18%増加している。夏休みの通学路緊急点検や避難訓練等が充実してきた成果であり、土曜授業での引き渡し訓練に対する評価であると考えている。しかし、児童自身が「安全に気をつけて行動している」と評価した割合は、昨年度より若干低い。実際に行動できなかったのか、或いは自覚の高まりと実際の行動とのずれによる捉えなのか、留意して児童の行動に目を配りながら、危機回避能力を育む安全教育の充実を更に進めていきたい。⑫【学校から】⑫昨年度比で、保護者・児童・教職員ともにほぼ横ばいの結果である。この結果は、毎月の安全点検をはじめ危険箇所の修繕等を迅速に行っている成果であるともいえる。今後も定期的あるいは臨時的な安全点検等を丁寧に行い、事故の未然防止に取り組むとともに、HPや学校便り等で、修繕した部分の紹介を行い、三者の不安払拭にも努めていきたい。		

### ③家庭・地域社会との連携強化

<h4>13 教育方針・目標の理解</h4>	<h4>14 家庭や地域との連携協力</h4>																																			
<p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>																																			
<table border="1"> <caption>Q13: 教育方針・目標の理解</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>「4」</th> <th>「3」</th> <th>「2」</th> <th>「1」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>46%</td> <td>44%</td> <td>8%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>68%</td> <td>28%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	「4」	「3」	「2」	「1」	保護者	46%	44%	8%	2%	児童	68%	28%	4%	0%	教職員	100%	0%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Q14: 家庭や地域との連携協力</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>「4」</th> <th>「3」</th> <th>「2」</th> <th>「1」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>32%</td> <td>64%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>52%</td> <td>48%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	「4」	「3」	「2」	「1」	保護者	32%	64%	4%	0%	教職員	52%	48%	0%	0%
対象者	「4」	「3」	「2」	「1」																																
保護者	46%	44%	8%	2%																																
児童	68%	28%	4%	0%																																
教職員	100%	0%	0%	0%																																
対象者	「4」	「3」	「2」	「1」																																
保護者	32%	64%	4%	0%																																
教職員	52%	48%	0%	0%																																
<p>【学校から】⑬保護者については、昨年度比で「4」の割合が6%増えている。年度途中から新しくなったHPでの発信に更に力を入れたり、学校便りの発行の頻度を増やす等、周知に努めた成果であると考えられる。 ⑭保護者の「4」「3」の割合は、84%から88%と増加傾向にある。しかし、教職員は「4」「3」が100%であり、保護者との若干の認識の相違がある。保護者や地域のニーズを把握し、連携・協力した教育活動の推進及び周知に更に力を注いでいきたい。</p>																																				

### ⑧本校の教育

<h4>15 家庭学習</h4>	<h4>16 早寝・早起き・朝ごはん</h4>	<h4>17 あいさつ</h4>																																																												
<p>子どもは、宿題や家庭学習ができていますか。</p>	<p>子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。</p>	<p>子どもは、あいさつができていますか。</p>																																																												
<table border="1"> <caption>Q15: 家庭学習</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>「4」</th> <th>「3」</th> <th>「2」</th> <th>「1」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>32%</td> <td>64%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>52%</td> <td>48%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	「4」	「3」	「2」	「1」	保護者	32%	64%	4%	0%	児童	52%	48%	0%	0%	教職員	100%	0%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Q16: 早寝・早起き・朝ごはん</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>「4」</th> <th>「3」</th> <th>「2」</th> <th>「1」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>32%</td> <td>64%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>52%</td> <td>48%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	「4」	「3」	「2」	「1」	保護者	32%	64%	4%	0%	児童	52%	48%	0%	0%	教職員	100%	0%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Q17: あいさつ</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>「4」</th> <th>「3」</th> <th>「2」</th> <th>「1」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>32%</td> <td>64%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>52%</td> <td>48%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	「4」	「3」	「2」	「1」	保護者	32%	64%	4%	0%	児童	52%	48%	0%	0%	教職員	100%	0%	0%	0%
対象者	「4」	「3」	「2」	「1」																																																										
保護者	32%	64%	4%	0%																																																										
児童	52%	48%	0%	0%																																																										
教職員	100%	0%	0%	0%																																																										
対象者	「4」	「3」	「2」	「1」																																																										
保護者	32%	64%	4%	0%																																																										
児童	52%	48%	0%	0%																																																										
教職員	100%	0%	0%	0%																																																										
対象者	「4」	「3」	「2」	「1」																																																										
保護者	32%	64%	4%	0%																																																										
児童	52%	48%	0%	0%																																																										
教職員	100%	0%	0%	0%																																																										
<p>【学校から】⑮昨年度比で殆ど変わっておらず、保護者・児童・教職員いずれも「3」「4」の割合が80%後半にとどまっている。本校の課題である家庭学習について、課題の工夫や家庭とのより一層の連携を図るとともに、今年度来年度に行われているICT環境の着実な整備を契機に児童の学習意欲や基礎学力の向上を進めることで、家庭学習の習慣化も更に図っていききたい。⑯児童の意識としては、「1」「2」の割合は減りつつある。学校保健委員会では、今年度新たに「食」をテーマに加え、栄養教諭とも連携して食育にも力を入れながら、「あせいっばい、はやねはやおき、もりもりごはん」をテーマに、健康的な生活習慣育成に向けて学校全体で取り組んできたところである。継続的に根気強く取り組み、更なる習慣化につなげていきたい。⑰職員の評価は、「4」の割合が23%も増加している。今年度力を入れて取り組み、学校生活での挨拶の様子が着実に向上していることを表していると考えられる。しかし、児童や保護者の評価は、昨年度比でほぼ変わっておらず、家庭や地域での挨拶にまではまだ届いていない状況が推察される。家庭や地域とより一層連携を深めながら、家庭や地域を含めた気持ちの良い挨拶の定着につなげていきたい。</p>																																																														

### 来年度の具体的な取り組みについて

○今年度評価の伸長が顕著であった「一人一人の児童生徒の尊重」や「児童生徒理解」「いじめや問題への対応」等を全職員で更に大切にしながら、今後も本校教育の理念である「一人一人を大切に教育」の実現に向けて、すべての教育活動を丁寧に進めていきたい。

○「特別の教科 道徳」の校内研修に取り組み授業改善を図ってきた成果を受け、「道徳・心の教育の充実」における評価が着実に高まってきたこの機を逃さず、来年度も更なる「道徳・心の教育の充実」に全校的に取り組んでいく。

○新学習指導要領の完全実施に向け、今年度の校内研修をベースに教職員の研修を深め更なる授業力向上に努めるとともに、移行の準備も怠りなく進めていく。

○ICT活用においては、電子黒板や新年度導入されるタブレット等の機器を積極的に活用し、わかりやすい授業づくりに努めるとともに、学習意欲の向上を図ることで、家庭学習の習慣化・定着化にもつなげていく。

○今年度土曜授業で初めて行った「引き渡し訓練」を来年度も継続し、児童は勿論、保護者や地域、そして職員も含め、「自助・共助」の意識を更に高めていく。

○学校生活において伸びが見られてきた「あいさつ」を、家庭や地域との連携を更に深めることで、家庭や地域生活での習慣化を図っていく。

### 学校関係者評価

○肯定的な評価の中でも、3から4へと移行している評価の項目が多く、素晴らしいと思う。

○校長先生並びに先生方の日頃の教育及び指導、改革への取り組みに対し、感謝したい。

○学校がいつも子どもたちのために、校長先生を先頭に取り組んでいるのがよく分かった。新たな取り組みや課題が年々増え、方法を模索するのが大変だろうと思うが、これまで通り先生方の意見を結集するとともに、特に熱心な先生方の教材研究やご指導が多くの先生方に広がり、それが子どもたちに繋がっていくことを願っている。

○ホームページについては、色々な学校のものを見比べると、更新の頻度に差があるのがよくわかる。しかし、毎日のように更新する必要はないと思う。基本方針や年間計画等の大事な部分はきちんと取り扱いつつ、季節の話題や行事の話題等、見る側が安心感を持てる程度の更新でいいと思う。

○新しくなる学習指導要領をはじめ、学習内容は多くなっているように感じる。それも大事だが、その前に、人間として、日本人としての基本的な姿勢や考え方を身につけることが更に重要ではないかと考えている。先生たちの負担が増えているのではと危惧しているが、最後の砦は学校であり先生たちの頑張り子どもたちは必ず変わってくるはずと信じているので、宜しく願いたい。

○校舎を案内してもらおう中で、電子黒板の活用や細やかな教科指導の様子、そして様々な作品の跡から、子どもたちの可能性を引き出してもらっていることがよくわかり、感謝したい。